



魅力ある地元を創るために



来場者でにぎわう新そばまつり



どすこいペア会場で梨カレーを販売



小貝川の堤防で菜の花ウォーキング

NPO 法人

梨想の会

関城地区を中心に活動している、梨想の会。地域活性化のため、黒子駅前美化や歴史探訪ウォーキングの実施、そして毎年春に行われ5,000人の集客を誇る「梨の花まつり」など、その活動は多岐に渡ります。

今月は、梨想の会の活動についてご紹介します。

発足のきっかけは
『地元学入門講座』

梨想の会は、平成16年5月に開催された、旧関城町主催「地域学入門講座」を受講した、初代会長の横島正利さん（関本肥土）を中心に、市民団体として5人でスタートしました。現在の会員数は、39人にまで増えています。

会の名称は、関城地区が100年以上続く梨の産地であることから、関城イコール梨と連想し、関城を想う会で「梨想の会」と名付けたそうです。

合併を前に、町道に
親しみやすい愛称を

発足してまず初めに取り組んだことは、「町道に愛称」をつけることでした。

これは、合併を前に1市3町の交流が深まることを想定し、わかりやすく親しみやすい路線名が必要との考えからだそうです。

愛称は、旧関城町役場と協議



地元の魅力や歴史を
後世に伝えていきたいです。

NPO 法人 梨想の会
もり ひろ き
森 寛樹 会長

今後の活動予定

9月上旬

どすこいペアで梨カレーを販売

10月下旬

黒子駅で菜の花の種まき

11月下旬

関本神社太神楽と新そばまつり

令和2年1月下旬

千妙寺節分祭で井上サツマのPR

令和2年2月上旬

辻集落火祭祭でPR活動

令和2年4月上旬

菜の花まつりウォーキング
梨の花まつり

入会を希望する場合

NPO 法人 梨想の会では、まちおこしや地域づくりに興味のある人を随時募集しています。年齢、性別、地域は問いませんので、お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局

筑西市関本肥土 362 番地
電話：37-7596 FAX：37-4323

新発見がたくさんある それが醍醐味

したうえで公募し、「飛行場通り」、「ペアーロード」、「関城通り」、「黒子西通り」、「船舟新道^{ふねふね}」、「フルーツ通り」の6路線が名付けられました。

各路線には、会員手作りの木製看板が設置されましたが、経年劣化のため、平成24年12月にアルミ製の看板に付け替えられています。

黒子駅前美化活動で 関東鉄道から表彰

「さまざまな事業を行っていく中で、地元の良いところを再発見できました。その一つが梨の花です。それまでは梨の花を間近で見たことがなく、美しさを知りませんでした。また、さ

梨想の会は、11の部会に分かれて活動しています。その中でも近年特に力を入れているのが、関東鉄道常総線黒子駅の活性化です。

桜の名所として知られる黒子駅ですが、春だけではなく秋も楽しんでもらおうと、平成30年

度の「筑西市住民参加型まちづくりファンド事業」を活用し、ヒガンバナの球根600株を駅構内に植えました。

これまでも、同駅の構内には梨や桜の苗木の植樹、菜の花の種まきなどを実施しており、こうした活動が認められ、関東鉄道（株）から表彰を受けています。



黒子駅に桜の苗木を植樹

活動の幅を広げる ためNPO法人に

梨想の会は平成16年に市民団体としてスタートしましたが、平成29年9月にNPO法人設立総会を開催し、平成29年10月にNPO法人として認証されました。

法人設立により主体が明確になるため、各種取引における信用が高まるのはもちろんのこと、政府・自治体の認証を受け、NPO法人ということでも、組織そのものや活動内容においても信用を得やすくなります。他にも団体名義で契約ができることなど、事業を行っていくうえでのメリットがあります。

地元の魅力や歴史を 後世に伝えたい

「活動が大変だと思ったことはありません。好きなことを楽しんでやっていることが理由ですかね」と森さん。

今後の活動について尋ねると「黒子駅を四季折々に美しい場所にしていきたいです。インスタ映えるような（笑）。また、梨の花まつりなどのイベントで、他団体とコラボレーションするなど、新しい風を吹きこんでいければと思います。地域の子どもたちのために、地元の歴史を紙芝居にして伝えていくこともしていきたいですね」と目を輝かせて語ってくれました。